

「落花生」生育情報（第2報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

平成26年8月20日
千葉県農林水産部
生産振興課

1 生育状況

本年の梅雨明けは、7月21日頃で平年並みとなりましたが、これ以降は、気温は高く、日照時間は多く推移し、地域によっては、降水量が少なく干ばつ傾向となっています。

調査ほ場の生育の進みは、例年より早く、8月8日現在の生育状況は、「千葉半立」は、さや数、さや重とも平年と比較してやや多くなっています。また、「ナカテユタカ」及び「おおまさり」は、さや数、さや重はやや少ないものの、さや部乾物重はやや多くなっています。

この結果、「千葉半立」はやや良、「ナカテユタカ」及び「おおまさり」は平年並みとなっています。

作況調査成績（8月8日調査）

品種名	年次	は種日	開花期	地上部 生体重 (g/m ²)	地上部 乾物重 (g/m ²)	さや数 (個/m ²)	生さや重 (g/m ²)	さや部 乾物重 (g/m ²)	生育 状況
千葉半立	本年	5/25	7/3	2,592	536	117	386	54	やや 良
	平年	5/26	7/6	2,585	441	106	339	45	
	対比	-1	-3	% 100	% 121	% 110	% 114	% 120	
ナカテユタカ	本年	5/28	6/30	1,918	393	162	642	124	平年 並み
	平年	5/29	7/5	2,362	408	173	648	96	
	対比	-1	-5	% 82	% 96	% 94	% 99	% 129	
おおまさり	本年	6/1	7/6	1,714	351	58	266	40	平年 並み
	平年	5/29	7/6	2,410	413	77	294	39	
	対比	3	0	% 71	% 85	% 76	% 90	% 105	

* 平年値は「千葉半立」、「ナカテユタカ」平成19～25年（過去7年間）の調査データから最大・最小を除く平均

* 「おおまさり」は平成22年～25年（過去4年）の調査データの平均

* 対比は日数、または平年比

2 これからの管理のポイント

十分にかん水を行い、収量確保しよう！

現在、落花生は地中で「さや」や「子実」が大きくなる時期です。

このとき、水分が不足すると子実の肥大が停止し、空ざやが発生して収量が大きく減少します。

また、採種ほ場では、幼芽褐変症が発生しやすくなり、来年の種子に発芽障害が生じますので注意が必要です。

朝方から、ほ場全体が黒っぽく見え、落花生の葉が閉じた状態の時は、十分にかん水しましょう。

★かん水のポイント★

※1回30ミリ以上のかん水をする。

※「ナカテユタカ」や「おおまさり」は干害を受けやすいので、必ずかける。

病害虫は早期発見・早期防除

県の病害虫発生予報（8月12日発表）によると、褐斑病は「やや多」黒渋病は「やや少」となっています。ほ場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めましょう。

なお、調査ほ場では、白絹病や茎腐病が散見されます。被害株は、表土とともに、ほ場から持ち出して処分しましょう。

褐斑病・黒渋病・白絹病の防除薬剤

病害名	適用薬剤名	希釈倍数等	使用時期／回数
褐斑病	トップジンM水和剤	1,500～2,000倍	収穫7日前まで／4回
	トップジンM粉剤	3～4kg／10a	収穫7日前まで／4回
	ダコニール 1000	500倍	収穫14日前まで／4回
	マネージ水和剤	500～1,000倍	収穫14日前まで／3回
	硫黄粉剤 80	3kg／10a	—
黒渋病	トップジンM水和剤	1,500～2,000倍	収穫7日前まで／4回
	トップジンM粉剤	3～4kg／10a	収穫7日前まで／4回
	硫黄粉剤 80	3kg／10a	—
白絹病	フロンサイド粉剤	20kg／10a	収穫45日前まで／1回

使用基準はラベルを必ず確認してください。

★農薬は正しく使いましょう★

落花生には、①らっかせい ②豆類（種実）で登録のある農薬をラベルに記載された使用方法を守って正しく使いましょう。

「試し掘り」を行って適期収穫しよう！

落花生の掘取時期の目安は、「ナカテユタカ」は開花期後80日、「千葉半立」は開花期後95日です。収穫時期が近づいてきたら、必ず試し掘りをして、収穫適期を逃さないように気をつけましょう。

砂地の地域では収穫期が早まるので、早めに試し掘りをしましょう。

特に、「ナカテユタカ」は掘り遅れると食味が低下するので、適期に収穫しましょう。

落花生研究室（八街市・マルチ栽培）での収穫期の目安

品種名	千葉半立		ナカテユタカ		おおまさり (ゆで豆)
	は種日	開花期	は種日	開花期	
は種日	5月23日	6月16日	5月23日	6月16日	5月23日
開花期	6月27日	7月17日	6月26日	7月17日	6月26日
収穫目安	9月30日	10月20日	9月14日	10月5日	9月19日

*開花期は、ほ場全体の50%程度の株に1輪でも花が咲き始めた日

*収穫期目安は、「千葉半立」が開花期後95日、「おおまさり」が開花期後85日、「ナカテユタカ」が開花期後80日で算出（日数は標準的な目安です）。

ナカテユタカの収穫適期判断法

「ナカテユタカ」は、さやの裏の色で収穫適期が判断できます。

<方法>

- ①ほ場の中で生育が中庸な4株を掘り、それぞれの株もとのさやを5つとり、さやの裏の色を見ます。
- ②合計20個のさやのうち、その半数以上の色が淡褐色(写真+)以上になり、黒褐色(写真+++)のさやがひとつでも見られたときが掘取りの適期です。
- ③開花期から予想される適期の7日前から、2、3日おきに試し掘りをして判定します。

